

基礎をしっかりと身につけよう

——練習、練習、また練習——

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめにー「明るく、楽しく、元気よく」ー

- (1)勉強を始めるにあたって、効果の上がる「勉強の方法」をお伝えします。
- (2)勉強は何のためにするのか。私は、「よく生きるためにするもの」と考えます。
- (3)折角勉強するのなら、いやいやするのではなく、楽しく、明るく、元気よく勉強しましょう。

2. 効果の上がる勉強の方法とはー「練習、練習、また練習」ー

- (1)授業を受けていて、少しでもわからないことがあれば、どうか遠慮なく手を挙げ、先生のお許しを得た上で、「ここがよくわかりません」と質問して下さい。そして、授業中に、わからないところがないようにして下さい。
*「うんなるほど」と「納得すること」、つまり「理解」することがまずは大切です。
- (2)「うんなるほど」と一度「理解」したことは、「声を出して読む練習」つまり「音読練習」と、「正確に楷書で書く練習」つまり「書き取り練習」と、「計算練習」を繰り返し行って身につけて下さい。
- (3)図書館の本や新聞も、ゆっくりでよいですからできるだけたくさん読んで下さい。
- (4)同じ本は5～6回読むと、よくわかってよいのではないかと私は思います。
- (5)本や新聞を読む時もいっしょにいらっしゃる皆様のご迷惑にならない程度に、ボソボソと小さな声で「音読」することをお勧めします。また、書くことが難しいと思われる漢字や語句は、人差し指を使ってゆっくりと書く練習をすると素晴らしいと私は思います。
- (6)勉強する時に大切なのは、どのように勉強したらよいかを自分のこととして考え、工夫し続けることです。少しずつでいいですから自分なりの「勉強の仕方」を身につけて下さい。

3. おわりにー「一生勉強、一生青春」ー

- (1)ドラッカーという先生は、「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」とおっしゃっていました。私は、皆様に「一生勉強し続ける人」という意味で「教育ある人」になって頂きたいと希望します。
- (2)最後に、私の好きな言葉を皆様に贈ります。足利市出身の書家、相田みつを先生の残された言葉です。「一生勉強、一生青春」。一生勉強し続け、いつまでも若々しく「よく」生きて参りましょう。

では、頑張って勉強していきましょう。

以上